

専門ゼミ A		演習	准教授 関川 弘	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130301	

1. テーマ

問題解決に必要な論理的思考を身に付ける。また、データサイエンスの基本的な概念と人工知能など情報技術を使った問題解決手法を学習する。

2. ゼミのねらい・概要

実習を通して基本的なソフトウェアのリテラシーを高めること。また、データサイエンスや人工知能の仕組みについて理解を深め、特に深層学習の具体的な応用例を理解する。

3. ゼミ計画

1. ガイダンス 2. 論理的思考のツールについて学ぶ 3. Word の使い方を学ぶ (図や罫線の利用方法) 4. Excel の利用方法を学ぶ (データの集計方法) 5. Excel の利用方法を学ぶ (グラフの作成方法) 6. P. Point の利用方法を学ぶ (スライドの設定等) 7. P. Point の利用方法を学ぶ (プレゼンテーション) 8. 簡単なプログラムを作る (四則演算)	9. 簡単なプログラムを作る (条件分岐) 10. ビッグデータについて学ぶ 11. データサイエンスについて学ぶ 12. 人工知能について学ぶ (種類と特徴) 13. 人工知能について学ぶ (深層学習の仕組み) 14. 人工知能について学ぶ (様々な応用事例) 15. 前期のまとめ
---	--

4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

準備として1時間程度、インターネットや関連文献を用いて調査すること。毎回の講義終了後30分程度、学習した内容をどれだけ多く、正確に説明・解説できるか自身で試みる。

5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

講義中に Form を使って短いレポートの提出を求める。提出された内容について質疑応答を行う。

6. ゼミにおける学修の到達目標

ソフトウェアの様々な機能を使ってレポート作成ができるようになること。データサイエンスや人工知能の基本的な仕組みについて何も見ずに5分程度説明できるようになること。

7. 成績評価の方法・基準

質疑応答等の講義への参加度合い (50%)、レポートの内容 (50%)

8. テキスト・参考文献

関係する文献については講義時間中に紹介する。

9. 受講上の留意事項

規律を守り周りの人に迷惑をかけること、授業中の私語を慎むこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は情報システム開発会社における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。